

Let's all work together!



消防・救助



通信指令

女性も、男性も。
みんな、活躍。

DECENT
WORK
(働きがいのある
仕事)



火災予防

地域防災

大切な市民を
守るために。

救急

総務



ライフステージにあわせた各種制度や、
女性が安心して働ける施設、教育訓練体制が
整っています。

大切な人を守るため、
その一歩が踏み出せる人間になりたい。
そんな優しい心を持ったあなたを、
松山市消防局は必要としています。

松山市消防局

『笑顔広がる人とまち』を、私たちと一緒に守りませんか。

※掲載している所属、階級等は、平成31年3月現在のものです。

● 女性の消防吏員って・・・何をするのかな？

→現在育児休業中の職員を含め、15人の女性が様々な部署で活躍しています！

先輩 interview

(写真左) 消防士 渡部 英里さん 平成29年度採用
中央消防署 消火業務担当 (24時間勤務)

● 普段はどんな業務を担当していますか。

火災をはじめ、あらゆる災害に立ち向かい、消火・人命救助・危険排除を行う消防隊の任務を担っています。女性と男性に任務の違いはなく、男性と同じ訓練を受け、現場で活動しています。パワー面でフォローしてもらうことはありますが、市民の苦痛を少しでも和らげることは女性が持つ「強み」だと思います。本市消防局は頼りになる先輩がたくさんいて、男女関係なく仕事の機会を与えられるので、自信がつきます！

しなやかに、たくましく。女性の強みを上手にいかして。

(写真右) 消防副士長 宮本 幸彦さん 平成24年度採用
中央消防署 消火業務担当 (24時間勤務)

● 女性と仕事をする上での心構えは？

僕は同期にも女性がいましたし、むしろ自然に感じています。一緒に仕事をした女性の皆さんは努力家で真面目な方ばかり。その姿に、自分も「負けていけない！」と鼓舞されてきました。また現場でも、市民の方への対応など、男性より女性の方が安心していただける場面は多く、今後さらに活躍の場が広がってほしいと思っています。



● 体力が不安・・・男性と一緒に仕事ができるのかな？

→サポートが充実しています。大丈夫、今まで体力不足を理由に退職した女性は、本市にいませんよ！

採用試験

要綱に基づいた筆記・体力・面接試験を受験します。

採用

Congratulation!

消防学校入校

約半年間、消防学校で訓練を受け、消防の基礎を習得します。

消防署配置

消防学校卒業後も、半年間は研修生として、所属で上司や先輩が教育訓練を実施します。

大切なのは、自分の「挑戦したい！」と思う気持ち。

(写真左) 消防副士長 宮浦 織さん 平成20年度採用
西消防署 救急業務担当 (24時間勤務)

● 消防学校や職場で男性と同じ仕事をするに不安は ありませんでしたか。

私は、高校時代「書道部」。体力に自信があるとはとても言えませんでした。「人の役に立つ仕事がしたい」という気持ちだけで高校卒業後すぐ松山市消防局へ入庁しました。

入庁時こそ不安もありましたが、職場の皆さんや家族に支えられつつ、出産・育児という経験も経て、今は救急隊員として、女性という「強み」を活かした業務に就いています。



先輩 interview

(写真右) 消防士長 土居 真美さん 平成7年度採用
西消防署 企画研修担当 (24時間勤務)

● 採用から10年以上を経て、現場を希望した理由は？

私が採用された時代、まだ本市には女性用施設が充実しておらず、当然のように私も毎日勤務に就いていました。しかし女性の職域が拡大されたことに伴い、本市でも女性の後輩たちが現場活動隊として採用され始めたことで、自分も現場に行きたいと思うようになりました。30歳を越えてから初めての訓練や現場は、一言では表せないほど大変でしたが、周りの皆さんの応援もあり、今では消防隊員の経験は女性で一番長くなりました。

● 女性でも消防吏員って・・・長く続けられるのかな？

→子育て世代もたくさん！ライフステージにあわせた働き方を選べ、みんなが支えあって働いています。

先輩 interview

(写真左) 消防副士長 志摩 華那さん 平成22年度採用
通信指令課 管理担当 (毎日勤務)

● 今の職場環境はどうですか？

課員の出勤管理や契約事務など、様々な業務がありますが、上司や同僚の助けもあり、毎日楽しく働いています。

● もうすぐ産前休暇に入りますが、何か不安はありますか？

私はもうすぐ2度目の産前・産後休暇、そして育児休業に入りますが、前回は復職前に人事担当者との面談し、考慮してほしいこと、自分の能力が発揮できる業務などを話し合うことができましたので、今回も特に不安は感じていません。元気な赤ちゃんを産んで、また戻ってきます！

みんなで支えあう風土をつくること。

(写真右) 消防士長 吉村 真子さん 平成17年度採用
予防課 消防設備指導担当 (毎日勤務)

● 家庭と仕事を上手に両立する『コツ』は？

私はもうすぐ3人目の出産となりますが、子育て中や妊娠中も安心して働くことができたのは職場の雰囲気と手厚い制度のおかげです。最近は「休憩時間の特例」を利用し、昼休みを15分短縮した分、勤務時間を早く終わらせるようにしています。『コツ』か、どうかは分かりませんが、家庭での時間も、仕事での時間も、どちらも大切に過ごすことで、上手にリフレッシュしながら働いているんだと思います。



お問い合わせ

松山市消防局 総務課

公式 Facebook

☎790-0811 愛媛県松山市本町六丁目6-1

☎089-926-9214

✉sbsoumu@city.matsuyama.ehime.jp



松山市消防局

待ってるよ〜♡

